

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立高峰中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 中学校区内の学校連携による校内研修や校内研究を行い、キャリア・マナー検定についての共通理解や学力向上のための共通実践ができた。その結果、学習状況調査における正答率の対果比が向上した。課題を分析して授業改善を行う。 感染症対策下の生徒会行事の工夫・改善を通して生徒会活動が活性化し、その際に、生徒が主体的に考え、行動することができ、主体性の伸長につながった。学校行事等の企画運営にも携わせ、さらに主体性を伸ばす。 生徒会本部役員を中心とする朝の挨拶運動によって、気持ちの良い挨拶（立ち止まって挨拶）も身につけ、日々の立派な個人差はあるものの概ね実践できた。徹底をめざす。 「学力向上アクションプラン」や「授業づくりのステップ1・2・3」等を活用して授業改善を行い、分かる授業の構築と確かな学力の育成に努めた。これにより、生徒の家庭学習の取組が充実し、学力向上へとつながった。さらなる授業改善を目指して、授業交流を行う。 特別支援教育について巡回相談を活用するなどして研修を深めるとともにTT授業による指導法を工夫するなどして、個に応じた指導を充実させた。このような指導・支援の工夫は、生徒の学習意欲の向上へとつながった。キャリア教育との関連を強める。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>夢を語って夢を追う児童生徒の育成</p> <p>「継続」・「挑戦」・「進化」</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>1 中学校区内の学校連携に根ざした校内研究（キャリア教育・学力向上）の推進</p> <p>2 生徒会活動の活性化 ・主体的に考え、行動できる場の設定 ・気持ちの良い挨拶（立ち止まって挨拶）と立腰の実践</p> <p>3 分かる授業の構築と確かな学力の育成 ・アクティブ・ラーニングの推進 ・家庭学習の充実【学習「量」の確保と、「質」の向上】 ・個に応じた指導の充実</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目				最終評価				主な担当者
重点取組			達成度（評価）		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標（数値目標）	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	A	・校内研修や職員会議で、本校の課題等を共通認識することができた。 ・校内研修では、学力向上アクションプランを活用し、分析をすることで、職員の授業に対する意識を高めることができた。	A	・先生方が授業を工夫されているのもよく分かった。引き続き、取組をお願いしたい。	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任	
	○主体的・対話的で深い学びを実現する授業の実践	○「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒80%以上	A	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。	A	・コロナ禍で大変だと思うが、主体的、対話的で深い学びができるように話し合いの活動を充実するよう取組をお願いしたい。	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達に対して思いやりある態度で接している」と回答した生徒80%以上	A	・人権講演会（人権集会）や道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・保護者や地域の方と連携した職場体験、産業体験の実施	A	・道徳を柱として人権同和教育を推進されている取組がよく分かった。人権集会等でさらに生徒達に人権意識を深めてほしい。	道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各学年主任	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等）について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	A	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。	A	・生徒へのきめ細かな対応ができている。また、外部の専門機関等も積極的に活用していることが分かった。今後とも個に応じた指導をお願いしたい。	(主) 生徒指導主事 (副) 各学年主任	
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上 ○朝食をとって登校する生徒90%以上	A	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行	A	・感染症対策や食育の指導等について、しっかり指導してもらっている。家庭の意識も向上している。	保健主事 養護教諭	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間等の上限を遵守する。	B	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休業日の設定	B	・取組はされていると思うが、改善は難航しているようである。生徒の教育環境を豊かにするために、先生方の働き方改革を工夫して推進してほしい。	教頭	

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価				主な担当者
重点取組			達成度（評価）		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標（数値目標）	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言		
○キャリア教育	◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上	B	・キャリアマナー検定、スピーチ集会の実施やキャリアパスポートの活用等年間を通して計画的に実施することができた。12月のアンケートでは、「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は69%、保護者からは96%が肯定的な意見であった。	B	・様々な実践が確実に取り組まれている。今後もその取組をさらに充実させてほしい。	総合的な学習の時間担当 特別活動担当	
○特別活動の充実	○生徒の主体的活動の活性化	○「生徒会活動を中心に学校生活を充実させるよう努力している」と回答する生徒80%以上	A	・実行委員会による学校行事の実施 ・生徒会活動の充実 ・専門部活動の充実	A	・生徒が主体的に活躍する場をこれからも多く作ってほしい。子どもにたくましさや自信を身に付けてほしい。	生徒会担当 特別活動担当	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> 「学力向上アクションプラン」や「授業づくりのステップ1・2・3」を活用した授業づくりを校内研修や中学校部会を通して職員に共通理解を図り、意識した授業づくりが実践することができた。 人権同和教育に関する研究授業や研究協議を通して、職員の道徳教育への意識が高まった。来年度は生徒対象の人権集会も実践して、生徒への人権意識の高揚につなげたい。 実行委員会形式で生徒主体による学校行事の運営を推進した。そのため、生徒の主体性の伸長につながった。次年度も継続していきたい。 部活動休業日の設定に合わせ、定時退勤日を設けるなど、職員のはたらき方改革への意識を高めることはできたが、校務分掌の均等化を図り、勤務時間の短縮につなげていきたい。
--------------------	--